

## 第14回東京地方自治研集会 「東京大改造による生活環境の変化への検証」分科会

千代崎一夫（新建築家技術者集団東京支部）230105

新建築家技術者集団東京支部 TEL03-3260-9810 ホームページ <https://nu-ae.com/tokyo/>

### 神宮外苑再開発

開発主体 明治神宮、日本スポーツ振興センター、伊藤忠商事、三井不動産

事業規模 64.8 ha

総事業費 不明

進捗状況 東京都環境影響評価審議会総会が12月26日に開かれ、事業者は今後、当日の議論を踏まえて評価書案を再修正し都へ提出する。その後事業者が再開発事業を申請し、都が認可するか決めることになりました。

日本中で再開発が行なわれています。地方都市でもそうですが、特に大都市の東京、京都、大阪ではそれぞれ大きな規模での開発が都市住民の生活を脅かしています。東京都内の港区、新宿区、渋谷区にまたがる「神宮外苑再開発事業」は、都民から見て環境を良くしていくものではないと思います。

この事業はオリンピックをきっかけに都民の貴重な空間とみどりを、金儲けのために変室させようというものです。誘致の当初は臨海部を中心にやると行っていたはずなのに国立競技場の建て替えをはじめとして、新しい会場も何種類も建てて行なわれました。

オリンピック後の神宮外苑再開発は、絵画館前の銀杏並木を中心に1000本の木が切られてしまうという都民の声がきっかけで、声が広がり、各層からの反応が大きくなりました。

新建東京支部でも「東京問題研究会」を中心に検討を始め、見解をまとめ、提案をしました。「神宮外苑再開発に対する見解と神宮の杜の歴史と文化を継承する再生整備の提案」12ページ建て。簡易パンフ「外苑に超高層ビルは似合わない いちよう並木と広青空の景観を!!」を発行しました。

### 外国との比較

神宮外苑のあの空間・オープンスペースは何にも代えがたいものです。東京23区の一人当たりの公園面積は他の国の大きな都市と比べれば本当に小さなもので千代田区の28.3㎡を入れても4.5㎡です。（2017年データ）韓国のソウルの半分以下です。

ニューヨークの29.3㎡、ウィーンの57.9㎡と各国と比較すると非常に少ないです。（平成19年度末の国土交通省調査）私の育った豊島区は、23区では最下位で0.7㎡です。

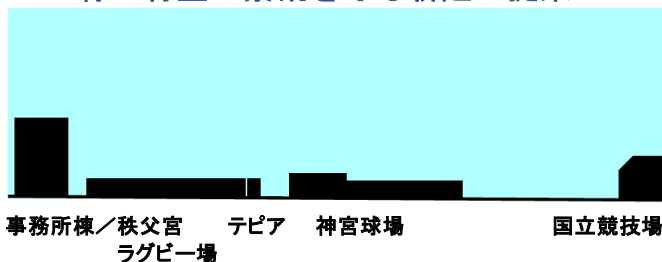
### スポーツコンプレックスという計画だが

大きな敷地ですが、諸スポーツ施設が密度高く設置されています。87年前の1936年に建設されたベルリンオリンピック・シュタディオンの廻りのバッファゾーン（緩衝地帯）はスタジアム本体より広い広場です。

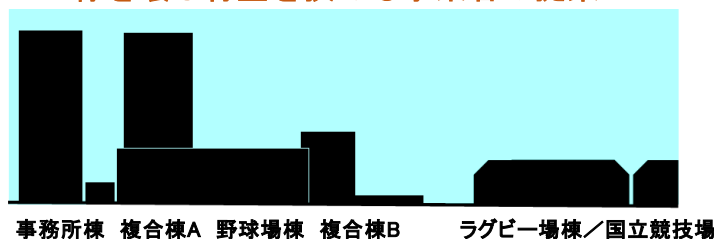


『神宮外苑地区のまちづくり指針』の都市再開発法からの逸脱を指摘し、撤回を求めます。  
 現状のほとんどの施設は歴史的な背景もあり、地域になじんでいる施設もあります。  
 建て替えを基本とする計画では、それらを壊してしまいます。97年経った神宮球場は「好きな  
 球場アンケート」では甲子園や東京ドームより好感度の高い2位でした。  
 事業者案と新建案の比較して下さい。運動次第でオープンスペースは守れると思います。

### 緑と青空の景観を守る新建の提案



### 緑を壊し青空を狭める事業者の提案



### 事業者が発表した 神宮外苑地区再開発イメージパース

計画案では建替えでボリュームを増したラグビー場・球場と超高層ビルが立ち並び、低層施設も増えて建て詰まった空間になる。

## 新建の提案と事業者案の比較

項目	新建の提案	事業者案
基本的な考え方	神宮外苑創建時の近代的公園としての設計思想を受け継ぎ、多くの都民が健康づくりやスポーツに利用できる再生整備を提案します。	都市計画の規制緩和により、スポーツ施設を上回る商業業務大規模再開発であり、緑と青空の景観を壊します。
既存樹木の保全	100年育ててきた樹木を保存し、緑の景観を受け継ぎます。	1000本近い既存樹木を伐採・移植することになります。
絵画館前広場	創建当時の芝生広場に再生し、日常的に自由に使用できる都民の憩いの場とし、サブグラウンド、地域イベント、災害時の避難場所等、多様な活用を提案します。	有料のテニス施設が2/3を占め、都民が自由に利用できる範囲は狭まり、施設建設により広場の景観も壊されます。
銀杏並木	沿道の植樹帯や緑地によりいちよう並木を保全し、東京を代表する景観を守ります。	野球場棟の隣接により銀杏並木の存続が危惧され都の環境影響評価審議会も継続して審議することになっています。
神宮球場	耐震補強や施設整備は完了しており、学生野球の聖地であり、100年の歴史ある建物として継続活用を提案します。	ホテル併設野球場で、銀杏並木への影響や、出入り導線の狭さが問題です。超高層ビルに囲まれますが、球場への風の影響が検証されていません。
ラグビー場及びJSC所有地	秩父宮ラグビー場は現在地で施設の耐震補強やリニューアルを行い、周辺敷地の公園化を提案します。	国立競技場以上の高さの建物が隣接し圧迫感を増します。ラグビー専用施設ではなくなり、収容人員も2/3に減少します。

新建の「見解と提案」はホームページに掲載中 [https://nu-ae.com/tokyo/20220710\\_plan/](https://nu-ae.com/tokyo/20220710_plan/)

